

# 『人文』創刊号～第13号 総目録

## 創刊号

- 「人文」創刊によせて……………虎 頭 民 雄  
 グラバー商会と薩英戦争……………門 田 明(1)  
 Transformational Grammar  
 and the Teaching of English……………久木田 美枝子(9)  
 万葉「綴喜の原」考……………奥 村 恒 哉(→)  
 馬内侍(→)  
 —その育まれた環境を中心に—……………福 井 迪 子(七)  
 支子文庫所蔵本「つれづれ草」について  
 —その書誌と陽明文庫所蔵本所載  
 校合本文との関係—……………橋 口 晋 作(四)  
 (1)

## 第 3 号

- カントの理性の統制的使用について  
 —体系的統一の哲学的基礎—  
 ………………細 谷 章 夫(1)  
 九州大学図書館蔵  
 支子文庫「神祇和歌」翻刻……………福 井 迪 子(→)  
 南都本と源平盛衰記  
 —「祇王祇女事」をめぐる—  
 ………………橋 口 晋 作(四)  
 「花鏡」の性格  
 —故観世寿夫先生に—  
 ………………栗 澤 道 代(四)

## 第 5 号

- カントの第三批判「序論」における  
 目的論的判断力と美感的判断力  
 ………………細 谷 章 夫(1)  
 Le Lys Rouge に於ける  
 懐疑性の構造  
 ………………小 住 毅 志(35)  
 延慶本『平家物語』と『源平盛衰記』  
 —住吉明神関係記事から—  
 ………………橋 口 晋 作(→)

## 第 2 号

- コールリッジと18世紀シェクスピア批評  
 ………………徳 見 道 夫(1)  
 沖縄におけるハーリー研究序説II  
 ………………瀬戸口 照 夫(11)  
 「かくれ沼」と「こもり沼」  
 —古今集の用語—……………奥 村 恒 哉(→)  
 馬内侍(→)  
 —その育まれた文芸的環境を中心に—  
 ………………福 井 迪 子(四)  
 支子文庫所蔵本『つれづれ草』をめぐる  
 —その本文系統など—  
 ………………橋 口 晋 作(三)

## 第 4 号

- カントの第一版における  
 「純粹悟性概念の演繹」  
 ………………細 谷 章 夫(1)  
 「あたぬし」考——梁塵秘抄註釈  
 付、林屋辰三郎氏の見解について  
 ………………奥 村 恒 哉(→)  
 支子庫文本〔自讃歌抄〕翻刻  
 ………………福 井 迪 子(四)  
 延慶本『平家物語』・『源平盛衰記』・覚一本『平家物語』  
 における天照大神 (2)  
 ………………橋 口 晋 作(四)

## 第 6 号

- 社会教育運動の論理  
 —NHK「ラジオの集い」にみる—  
 ………………三 浦 嘉 久(1)  
 現代スポーツの問題点  
 —その大衆化と高度化を中心として—  
 ………………瀬戸口 照 夫(17)  
 Young Yeats's Social Disunity:  
 Some Elements of Early Heroes  
 ………………池 田 俊 也(27)  
 An Analysis of Listening Comprehension  
 ………………潮 紀三子(41)  
 呪術の世界から神話の世界へ  
 —神統譜成立の思想的前提—  
 ………………奥 野 中 彦(→)  
 幸橋——付、櫛田川その他  
 ………………奥 村 恒 哉(四)  
 馬内侍(五)  
 —その育まれた文芸的環境を中心に—  
 ………………福 井 迪 子(三)  
 「治承物語」をめぐる試考(→)  
 —延慶本『平家物語』の東大寺「伽藍ノ厨」関係記事—  
 ………………橋 口 晋 作(三)

## 第7号

日向神話をめぐって

……………奥 野 中 彦(一)

「法皇御灌頂事」をめぐって

——延慶本『平家物語』の性質など——

……………橋 口 晋 作(二)

『生活の意義』

……………駱 賓 基 作 (三)  
岡 本 不二明訳

W.B.Yeats と Anglo - Irish Tradition

—— Robert Gregory 追悼詩篇を巡って——

池 田 俊 也(1)

## 第9号

カリフォルニア州コミュニティ・カレッジの理念

——その形成と現代的諸問題——

……………三 浦 嘉 久(1)

コトバ ことば 言葉

……………児 玉 啓 介(15)

橘為義考(一)

——道長親近の一家司層の生涯——

……………福 井 迪 子(一)

南都本『平家物語』第九、及び

延慶本『平家物語』第四をめぐって(二)

……………橋 口 晋 作(二)

## 第11号

橘為義考(三)

——道長親近の一家司層の生涯——

……………福 井 迪 子(一)

南都本『平家物語』第九、及び

延慶本『平家物語』第四をめぐって(四)

……………橋 口 晋 作(二)

辺陲線上

——其の二——

……………岡 本 不二明(三)

## 第8号

聊斎志異促織篇新考

……………岡 本 不二明(一)

南都本『平家物語』第九、及び

延慶本『平家物語』第四をめぐって(一)

……………橋 口 晋 作(三)

## 第10号

コーストライン・コミュニティ・カレッジ

——その時代が到来した構想——

……………三 浦 嘉 久(1)

J.M.Synge と Gaelic League

……………池 田 俊 也(17)

歌枕「野島が崎」

……………奥 村 恒 哉(一)

橘為義考(二)

——道長親近の一家司層の生涯——

……………福 井 迪 子(七)

南都本『平家物語』第九、及び

延慶本『平家物語』第四をめぐって(三)

……………橋 口 晋 作(二)

辺陲線上

……………岡 本 不二明(三)

## 第12号

「いろいろことに」か、「いろことことに」か

古今集卷五、秋歌下、題しらす よみ人しらす

……………奥 村 恒 哉(一)

ある妓女の伝説

——南宋志怪小説管見——

……………岡 本 不二明(四)

南都本『平家物語』第九、及び、

延慶本『平家物語』第四をめぐって (五)

……………橋 口 晋 作(二)

## 第13号

Lydgate の Fortune の描写

—直喩表現“lich an aungel briht”の解釈—

……………森 義 昭(1)

科学と志怪

—南宋志怪小説から『聊齋志異』まで—

……………岡 本 不二明(2)

「旧延慶本」・延慶本（第四）と他本

—単独の共通記事を中心に—

……………橋 口 晋 作(3)

★